

(別紙 4)

令和3年度愛媛県 NPO 法人活動助成事業  
【 協働事業助成 (・テーマ型 **・一般型**) 】 \*○を付けてください

企 画 提 案 書

令和3年5月24日

次のとおり、標記事業について企画提案書を提出します。

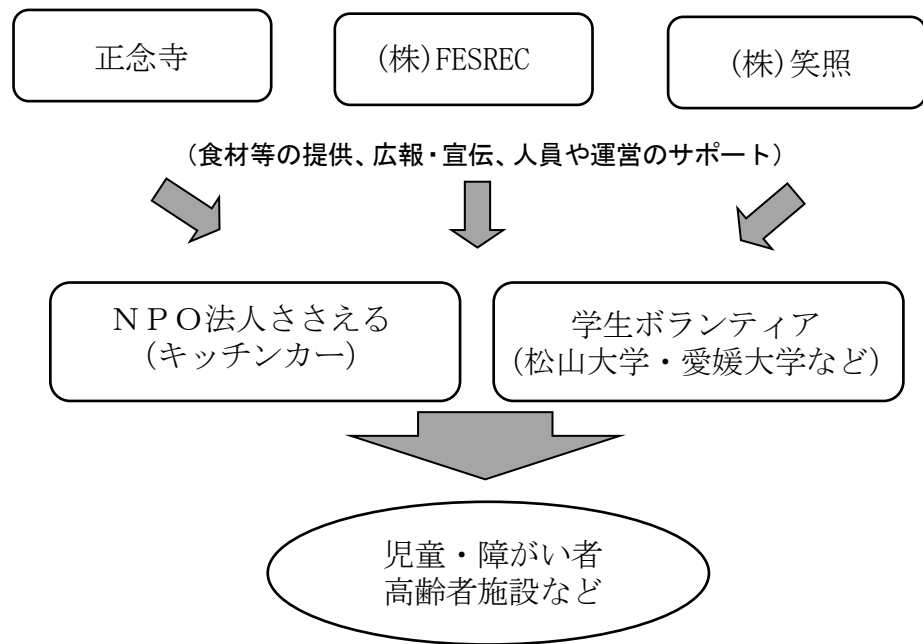
申請者 (事業実施主体名)	法人名	*登記上の正式名称を記載してください <b>NPO法人ささえる</b>
提示テーマ		*テーマ型協働事業助成のみ記載してください
連携・ 協働者		・主たる協働事業者を3者まで記載してください。 ・「種別」は、ボランティア団体、企業、地縁団体(町内会・自治会等)、公益法人、社会福祉法人、協同組合、行政などの区分を記載してください。
	(1)	団体名 正念寺 (種別) 宗教団体
	(2)	団体名 株式会社 笑照 (種別) 企業
	(3)	団体名 株式会社 FESREC (種別) 企業
総事業費及び 希望する県補助金額		総事業費 800,000円 (うち希望補助金額 500,000円)
事業概要		申請事業の概要を100~200字程度にまとめて記載してください。 「地域をつなぐ まちカフェ事業」 コロナ禍であるからこそ地域のつながりを強くするために、屋外に特化した地域交流 まちカフェ事業を行う。 開催方法は、NPOが所有するキッチンカーを利用し、学生ボランティアとともに県内の児童・障がい者・高齢者施設・地域等へ訪問し、地域交流によるコロナに負けない地域づくりを目指す。
事業実施期間		交付決定の日から 令和4年3月15日まで

## (事業計画等)

<p>1 事業の 目的・目標</p>	<p><b>(1) 事業の背景となる地域の課題を記載してください。</b>          昨年から続くコロナウイルスの感染拡大により、子供たちをはじめ障がい者や高齢者施設、地域での交流イベント等は自粛を余儀なくされている。外出も自粛となる中で、ストレス等により精神的・身体的にも不調をきたす方が増えている。          また、このような状況でこそ地域のつながりを強化していかなければならないが、交流することすらままならない日々が続いている。          そうした中で、感染対策を取ったうえで行える地域交流の在り方が求められているのではないか。</p> <p><b>(2) 課題を解決するための提案事業との関連について記載してください。</b>          コロナ禍に対応した地域交流の在り方を提案する。          施設内・外または地域で交流できる機会を作ることで、改めて人や地域とのつながりを強化できると考えている。</p> <p><b>(3) 事業の目標(期待される成果)を記載してください。</b>          月に1~2か所、事業年度では20か所を目標に県内の施設や地域を訪問して まちカフェ事業を行う。          施設または地域内での交流により、長期にわたる自粛により疲弊している心を、少しでも和らげる効果があると見込んでいる。</p> <p><b>(4) 目標達成のために工夫する点を記載してください。</b>          キッチンカーを利用することで、屋外型のため感染対策が取りやすくなる。          施設・地域への訪問を行うが、事前にPCR検査を受けるなど安心して応募してもらえる体制づくりを行う。</p>
<p>2 役割分担 (事業実施体制)</p>	<p><b>協働事業者との役割分担(具体的な連携内容)について記載してください。</b>          正念寺、株式会社笑照、株式会社 FESREC は、食材支援と事業の広報・宣伝および運営や人的サポートを行う。          NPO法人ささえるはキッチンカーを用意し、学生ボランティアとともに直接的な事業運営を行う。</p>
<p>3 事業スケジュール</p>	<p><b>事業の進め方、段取り等が分かるように、いつ、どのような活動を行うのか、スケジュールを具体的に記載してください。(※別紙添付でも結構です。)</b></p> <p>交付決定後、ホームページ・SNS・チラシ等にて愛媛県内の児童・障がい・高齢者施設・社協・地域包括支援センターへ事業内容の周知、募集を行う。          翌月より、月1~2か所程度を予定し、各施設へ訪問して「まちカフェ事業」を開催。          (応募多数の場合は出来るだけ週1回までは対応できるよう体制を整える)</p> <p>コロナ感染対策のため対象者を施設のみ限定するか、地域に開放する形にするかについては、感染状況を見て応募施設と1週間前を〆切として相談を行う。SNSでの広報活動についても、感染状況を見て判断する。</p> <p>開催前日までに、食材やボランティアを運営団体と連携団体、地域・学生ボランティアで分担して準備する。          当日の開催時間は11時~15時を基本とするが、応募団体と相談シタ方等の対応も行うものとする。</p>
<p>4 事業終了後の展開</p>	<p><b>助成事業が終了した後、どのように活動(協働)を継続していくのかを記載してください。</b></p> <p>事業パンフレットを作成して事業内容を企業や団体等へ積極的に広報し、事業終了後も食材の提供や寄付により、自立運営出来る体制づくりを目指します。</p> <p>まちカフェ事業と併せてフードドライブも展開できるよう、県内のフードバンクとも協働していきたいと考えています。</p>

5 事業の  
スキーム図

事業を実施していくうえで、協働先とどのように協働していくのか図で表してください



## 事業収支計画書

## 1 収入の部

区 分	予 算 額(円)	摘 要
自己資金	300,000	*「愛媛県NPO法人活動助成事業費補助金」を加えてください。 事業収入 (販売売上@100×150食×20回) 愛媛県NPO法人活動助成事業費補助金
助成金	500,000	
収 入 計	800,000	

## 2 支出の部

区 分	予 算 額(円)	摘 要
役務費		事業パンフレット・チラシ送付 ボランティア保険料
通信運搬費	30,000	
保険料	20,000	
旅費		ボランティア交通費、高速料金 キッチンカーガソリン代
交通費	80,000	
ガソリン代	120,000	
報償費		ボランティア40名×4,000円
ボランティア謝金	160,000	
需用費		資料、チラシ・事業パンフレット印刷 事務用品、食材、イベント消耗品購入 PCR検査費用(20回分)
印刷製本費	40,000	
消耗品費	287,000	
委託費	63,000	
支 出 計	800,000	

※1 申請しようとする事業に関する収支計画(見込)を記載してください。

※2 法人の全体事業に係る計画ではないのでご注意ください。